

第1回下川町農業振興審議会 審議概要

1 開会

2 委嘱状交付

3 町長挨拶

4 互選

表委員：会長に吉田委員、副会長に丸山委員を推薦する。

古屋課長：会長に吉田委員、副会長に丸山委員という意見があったがよろしいか。

全員：異議なし

5 会長挨拶

6 諮問「下川町の農業の発展に向けた施策について」

町長が諮問を読み上げ、会長に諮問書を手交。（手交後、町長退席。）

7 議案

（1）審議会の要旨とスケジュールについて

倉澤主査：資料に基づき説明。

（2）下川町農業に係る条例に基づく施策利用実績について

倉澤主査：資料に基づき説明。

表委員：消化液の補助とはどのようなものか。

倉澤主査：オペレーターの人件費など。

庄子委員：麦かもち米農家が対象になるのか。

品地委員：予算あげてデントコーンも対象にするとか。

庄子委員：莫大な金額になるし耕畜連携が目的なので難しいかと思う。

吉田会長：農業委員会でも話に出るが、大きな機械で畑を荒らしてしまふなどの課題もある。消化液の有効性もデータ化して示していけたらいいと思う。

倉澤主査：バイオチャーの関係なども入れていければいいと思う。

庄子委員：外国人実習生の宿舍の助成だが、協議会に入っていない農家で外国人実習生を受け入れている農家には何の補助も無いのは公平性に欠けると感じた。

倉澤主査：おっしゃるとおりかと思う。今回は新型コロナの交付金の関係で緊急的に実施したもので協議会ということになった。

水間委員：中国人に限らず外国人実習生の受入れの費用が上がっている。飛行機代や、今は無いがコロナの待機期間の費用など。研修生に負担させると、お金を稼ぐ目的で来てるのにそれだけ費用が掛かるなら来る魅力がなくなってしまうので農家で負担しているところが多い。そういったところの補助もあつたらいいと思う。

(3) 意見交換

丸山委員：北はるか農協としても、資材高騰などの影響が出ていて、特に生乳に関しては廃棄を検討しなければいけないような段階に来ているが、関係機関や生産者の協力を得ながら頑張っていきたい。

表委員：規模拡大したが、乳価が上がってほしい。

水間委員：新規就農して5年経過しようとしている。新規就農者としての経験も活かし次の新規就農者へつなげていきたい。

谷口委員：資材高騰など今後どうなるか先が見えない中であるが、少しでもお役に立てればと思う。

品地委員：水活の廃止などで耕作放棄地が増えていくと思うのでその対策も必要かと思う。

吉田会長：ちょうど人・農地プランの実質化に向けて農業委員会と改善組合で話し合いをしているところ。新規就農者とのマッチングにもつなげられたらと思う。

表委員：牧草地については危険で生産性のないところは林地化したほうがいいので林地化に対する補助もあつたらいい。

庄子委員：和牛についても今はそれなりの単価だが先の予測がつかない。下川町は他の市町村に比べ補助金が手厚いと聞くが、よりよいものにしていきたい。

吉田委員：今ではネットで簡単に情報が手に入るが、地域として共有する場が必要だと思っている。

古屋課長：肥料高騰対策を認定農業者を対象に実施したが、11/2の臨時会で非認定農業者も対象にしたいと思っている。
また、飼料高騰対策事業として、微々たる金額にはなるが牛や鶏の飼養頭数に応じた補助も議会に提案する予定。

8 閉会

吉田会長 第1回農業振興審議会を閉会する。